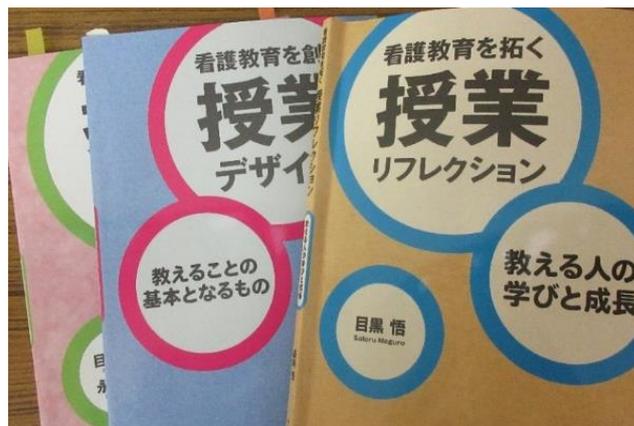


ラダー別教育プログラム：ラダーレベルV

～ 主任学習会 ～

主任学習会は、5月と12月のシリーズで、授業についての学びです。

5月の「授業デザイン」の講義は、自セッションで企画実施してきた研修や指導を通して、教えることの基本となるものを教えていただきながら、じっくり考える貴重な時間です。まず授業とは、講義・演習に限らず、実習生や新人、後輩に対する教育的な関わり全てであると考え、「教える一学ぶ」関係には、それぞれの“ねがい”があり、ぶつかり合い交わることで関係性が生まれる場であることを学びました。



12月は「授業リフレクション」、5月以降に実施した授業を振り返る時間でした。自分が行った授業を自分の言葉で語り、経験を自分自身で意味づける、その中での「気づき」「気がかり」を「手がかり」にして、共に学び・共に成長していくことをめざす研修です。教育と看護は、自分と相手との関わりによって、絶えず複雑に変化する「相互性の場」、すなわち「臨床の場」ということを実感した研修でした。看護の学びを支え支えられ続けるために、講師の目黒先生からは“看護の貧しさは教育の貧しさ、教育の豊かさは看護の豊かさ”という、しみいる言葉を頂きました！良い報告が出来るように続けていきます、次年度もオープンセミナーとして公開して居りますので、皆様どうぞご参加下さい。

